

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽評価をしながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4 5	曲想と曲の構成を感じ取って表現を工夫しよう 「学年合唱曲 「夢の世界を」 「リズム」	・歌詞の内容や、音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・楽譜の中にある基本的な音符や記号を知り、表現に生かす。	6	評価カード (毎時間) 観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト 創作プリント 鑑賞プリント
	6	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 「フーガト短調」	・曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、楽器の響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評する。 ・旋律が次々と追いかけるようにして重なり合っていく様子を聴き取る。	3	
	7	曲想と詩の内容とのかかわりを理解して、表現工夫しよう 「夏の思い出」	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律のかかわりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	3	歌唱プリント
第2学期	9 10	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう 合唱コンクール学級自由曲 リズムアンサンブル	・歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラス力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。	7	観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト
	11	曲の構成を理解して、その魅力を味わおう 「交響曲第5番 八短調」	・曲想と音楽の構造のかかわりを理解して、そのよさや美しさ、楽器の響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評する。 ・モチーフ(動機)がどのように使われているのかを探りながら「形式」のしくみを理解し、それが西洋音楽の特徴であることを知る。	3	鑑賞プリント
		日本の歌やカンツォーネのよさや美しさを味わい、表	・歌詞の内容や曲想から日本の歌やカンツォーネのもつ情緒を味わい、情景を	2	歌唱プリント

		現を工夫しよう 「サンタルチア」	思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。		
	12	音の重なりや反復、変化を理解して、表現を工夫しよう 「Let' s Create」	・音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある表現を創意工夫して音楽をつくる。	2	創作プリント 創作テスト
第3学期	1 2	オペラや歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう 「アイダ」 歌舞伎「勧進帳」	・オペラや歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	4	鑑賞プリント
	2 3	仲間とともに表情豊かに合唱しよう 3年生を送る会学年合唱曲 卒業式送別の歌「南風」	・歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・卒業生への感謝と尊敬の思いを込めて、1年間のまとめとして歌う。	5	観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・楽譜が配られたら、自分のパートの部分に、ラインマーカーで印をつけておきましょう。
- ・楽譜に書かれている音楽記号に○をつけましょう。
(ppp pp p mp は 青○で囲む。 mf f ff fff は 赤○で囲む。)
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・学期に1回、技能テストを行います。人前で、一人でも、堂々と演奏できるように練習をしておきましょう。
- ・授業プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。定期テストを実施しないため、授業プリントがとても大切です。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽2，3年上、中学生の器楽（教育芸術社）、
- ・副教材：ジョイフルソング（新学社）
- ・その他：授業ファイル、楽譜ファイル

※音楽の学習道具は、学校に置いてよいものです。